2026（令和 8）年度　愛知大学大学院入学試験

（2025．9月実施）

受験番号	

修士課程

文学研究科　日本文化専攻	
外国語	
科目名	英　　語

採点欄	

（辞書の使用可、電子辞書使用不可）

Why is Japan Such a Jazz-Loving Nation?

No other country has reissued so many classic jazz albums as Japan. From Blue Note to Riverside to Prestige, masterpieces are constantly being revived—remastered with pristine sound, released in exclusive paper sleeves, or in ultra-high-quality formats like SHM-CD or SACD. (1)Some albums long out of print even in the U.S. have been revived only in Japan.

In Japan, jazz isn't just played in clubs or on stage. You'll hear it in shopping malls, department stores, restaurants, cafés, and even noodle shops. I was once genuinely surprised to hear Coltrane's *My Favorite Things* playing in a tiny ramen shop in Yokohama. (2)Nobody blinked. In fact, everyone seems perfectly at ease, as if the music naturally belongs there. (3)Whether anyone is actually listening, though, is anyone's guess. So, why is jazz so alive here? Why do Japanese listeners connect with this music so deeply?

Can the Japanese Really Understand Jazz?

A fair question—especially when you remember Japan was isolated for more than 200 years during the Edo period (1639-1854), when Western music was virtually nonexistent. (4-A)(　　) wasn't until the Meiji Restoration in the late 19th century (4-B)(　　) classical music and eventually jazz and pop, began to enter Japanese life. (5)And yet, jazz struck a chord.

When I lived in New York (1994-2001), I was often asked by Americans, "Why is jazz so popular in Japan? How could people from such a faraway island really understand this music?" My answer was simple: "Because jazz and Japanese aesthetics share something profound."

In the liner notes for *Kind of Blue*, Bill Evans wrote:

> "There is a Japanese visual art in which the artist is forced to be spontaneous. (6)He must paint on a thin stretched parchment with a special brush and black water paint in such a way that an unnatural or interrupted stroke will destroy the line or break through the parchment. Erasures or changes are impossible …."

He was describing *sumi-e*, Japanese ink painting—a one-short act of expressive precision where every brushstroke must carry intention. (7)That same spirit lives in jazz improvisation: no edits, no second takes—only truth in the moment. The simplicity of black ink on white paper also echoes the pared-down clarity of modal jazz, especially in *Kind of Blue*. We Japanese understand this. We live in the moment. And (8)so does jazz.

2026（令和 8）年度　愛知大学大学院入学試験

（2025．9 月実施）

受験番号	

修士課程

文学研究科　日本文化専攻	
外国語	
科目名	英　　語

採点欄	

（辞書の使用可、電子辞書使用不可）

Ichigo-Ichie & Eric Dolphy

"When you hear music, after it's over, it's gone, in the air. You can never capture it again."

—Eric Dolphy

This quote reminds me (9)(　　) the Japanese concept of *Ichigo-Ichie* "One time, one meeting." A Zen-inspired phrase that reminds us to treasure every moment as it will never recur. Jazz improvisation is exactly (10)that: a once-in-a-lifetime experience. Even if we play the same tune with the same people, we can never recreate the same feeling. That's the joy. That's the beauty. That's jazz, isn't it?

Ma—The Art of Space

A Dutch drummer friend of mine, who lives in Japan, once said: "Lately, I've been studying *Ma* in my drumming." *Ma* (間) refers to the space between things—(11-A)(　　) just silence, (11-B)(　　) active presence. It's the silence between notes, the breath between phrases, the tension between movements. (12)(　　) a Western rest, *Ma* is a time to listen. In traditional Japanese music (shakuhachi, koto, etc.), *Ma* defines mastery. Similarly, in jazz, the timing of silence—or delay—shapes swing and groove. That tiny delay behind the beat? It's *Ma* in motion.

Shu-Ha-Ri and the Path of Jazz

There's an old Japanese concept: *Shu-Ha-Ri*:

Shu (守): follow the form
Ha (破): break the form
Ri (離)): transcend the form

First taught in 14th-century Noh theater, it describes the path to mastery. You learn the rules. You challenge the rules. Then you rise above (13)them. Jazz musicians do this instinctively—whether it's John Coltrane, Ornette Coleman, or today's young artists. We (14)absorb what came before, break it open, and search for freedom. Isn't that the (15)heart of jazz?

2026(令和 8) 年度　愛知大学大学院入学試験

（2025. 9 月実施）

受験番号	

修士課程

文学研究科　日本文化専攻	
外国語	
科目名	英　　語

採点欄	

（辞書の使用可、電子辞書使用不可）

In Closing

Maybe now you see why jazz speaks so deeply to the Japanese spirit. Through Ma, *Ichigo-Ichie*, and *Shu-Ha-Ri*, we find in jazz something we've always known. And maybe—just maybe—that's why Japan has become a jazz paradise. Of course, playing jazz is never easy. But we try—with sincerity, spirit, and deep respect for every moment.

1. 著作者名（小橋敦子 / Atzko Kohashi）
2. 出典「Why Is Japan a Jazz Paradise-or-Why the Japanese Feel at Home in Jazz?」
3. 掲載サイト名 https://www.allaboutjazz.com/why-is-japan-a-jazz-paradise-or-why-the-japanese-feel-at-home-in-jazz) All About Jazz 2025

1. 下線部（1）の語句を和訳しなさい。

2. 下線部（2）“Nobody blinked.”の表す意味を具体的に説明しなさい。

3. 下線部（3）を和訳しなさい。

4. 空所(4-A), (4-B）に入る適切な語句の組み合わせの番号を選びなさい。
   ① 4-A: It　　4-B: that
   ② 4-A: Not only　　4-B: but also
   ③ 4-A: No sooner　　4-B: than
   ④ 4-A: Whatever　　4-B: so

5. 下線部（5）の表す意味を具体的に説明しなさい。

6. 下線部（6）を和訳しなさい。

7. 下線部（7）“the same spirit”が指す内容を日本語で説明しなさい。

8. 下線部（8）“so does jazz”が表す内容を英語で書きなさい。

2026(令和 8) 年度　愛知大学大学院入学試験

（2025. 9 月実施）

受験番号	

修士課程

文学研究科　日本文化専攻	
外国語	
科目名	英　　語

（辞書の使用可、電子辞書使用不可）

採点欄	

9. 空所（9）に入る適切な前置詞を書きなさい。

（　　）

10. 下線部（10）“that”が指す内容を日本語で説明しなさい。

11. 空所(11-A), (11-B）に入る適切な語句の組み合わせの番号を選びなさい。

① 11-A: so　　11-B: that
② 11-A: too　　11-B: to
③ 11-A: not　　11-B: but
④ 11-A: for　　11-B: to

12. 空所（12）に入る適切な語句の番号を選びなさい。

① In addition to
② As
③ According to
④ Unlike

13. 下線部（13）“them”の指すものを英語 1 語で書きなさい。

（　　）

14. 下線部（14）の以下の語句に対応する内容を「守」「破」「離」の中から選んで書きなさい。

・absorb what came before　＝（　　）
・break it open　＝（　　）
・search for freedom　＝（　　）

15. 下線部（15）“heart”とほぼ同じ意味で使われている語（英語 1 語）を最終段落（In Closing）より抜き出して書きなさい。

（　　）

16. このエッセイの要点を 50 字以内でまとめなさい。

入学年度および実施時期	2026年度　第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	文学研究科
専攻・コース等	日本文化専攻
入試方式	一般入試
科目名	英語
試験実施日	2025年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
（試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと）

【出題意図】

英語を専攻としない修士学生が、日本文化に関する平易な英文を読み解く基礎力があるかを判断するための問題である。同時に、本題材は外国文化と日本文化の共通点を考察したものであり、日本文化を研究する学生に有益な示唆と新たな視点を提供することを目指したものである。

【解答例（採点時の観点）】

1．（アメリカ）合衆国においてさえ長らく廃盤となっているアルバム
2．誰も違和感を覚えなかった（誰も耳を疑わなかった）ということ
3．とはいえ、実際に聴いている人がいるかどうかは誰にもわからない。
4．①
5．しかし、ジャズは人々の心に響いた。
6．芸術家は薄く張られた上質紙に、特殊な筆と墨汁を用いて描かねばならない。その際、不自然な筆致や途切れが生じれば線は乱れ、紙を突き破ってしまうのだ。
7．墨絵同様の、繰り返しのきかない、その瞬間に生きる芸術表現
8．Jazz also lives in the moment.
9．of
10．一期一会（一度きりの貴重な瞬間を尊ぶ意識）
11．③
12．④
13．rules
14．・absorb what came before　=守
・break it open　=破
・search for freedom　=離
15．Spirit
16．日本でジャズの人気がある理由は、日本古来の墨絵や、一期一会、間、守破離といった精神に通ずるからである

2026（令和 8）年度　愛知大学大学院入学試験

（2025．9月実施）

受験番号	

採点欄	

修士課程

文学研究科　日本文化専攻	
専門科目	
科目名	選択（その1）

次の史料は、国史大系本『日本文徳天皇実録』嘉祥三年（八五〇）五月辛巳条から壬午条である。これを読み、以下の問いに答えよ。解答時には問題番号・記号等を明記せよ。（100点満点）

問一　傍線部①～④の語句の読みをひらがなで記し、説明を加えよ。（読み各2点完答。説明各3点部分点あり）

問二　傍線部ⓐ～ⓒを書き下し文に直せ。（ⓐ10点、ⓑ8点、ⓒ8点。部分点あり）

問三　傍線部ⓐ～ⓒを現代日本語訳せよ。（ⓐ8点、ⓑ8点、ⓒ12点。部分点あり）

問四　伊予国神野郡は嵯峨天皇即位後どのような変化が生じたか、史料を読んで答えよ。また、淳和天皇即位後に同様の理由で発生した変化について、知るところを述べよ。（14点、部分点あり）

問五　文徳天皇が即位するに至った過程を、嵯峨天皇即位の段階から順を追って説明せよ。必要であれば史料を参照して系図を作成せよ（12点、部分点あり）。

○辛巳。嵯峨太皇太后崩。○壬午。①太皇太后于深谷山。遵令薄葬。不營山陵。先是。民間訛言云。今年三月不可造。以無母子也。識者聞而惡之。至于二月。宮車晏駕。是月亦有大后山陵之事。其無母子。遂如訛言。此間。田野有草。俗名母子草。二月始生。莖葉②白腻。每年三月三日。婦女採之。蒸舂以爲餻。傳爲歲事。今年此草非不繁生。民之訛言。天假其口。太皇大后。姓橘氏。諱嘉智子。③父清友。少而沉厚。涉獵書記。身長六尺二寸。眉目如畫。奉止甚都。④延暦廿年。高麗國遣使修聘。清友年在弱冠。以良家子委養慰僮。接對遵客。高麗大使歸可大夫史都蒙見之。而語之。問通事舍人山於野上云。彼一少年。爲何人乎。野上對是京洛一白面耳。都蒙明於相法。語野上云。此人毛骨非常。子孫大貴。野上云。請聞命之長短。都蒙云。卅二有厄。過此無恙。其後清友娶田口氏女。生后。延暦五年爲內舍人。八年病終於家。時年卅二。嬪之哀如都蒙之言。后爲人寬和。風容絕異。手過於膝。髮委於地。觀者皆歎。嵯峨太上天皇初爲親王納后。寵遇日隆。天皇登祚。弘仁之始。拜爲夫人。先是。數日。后夢出自臍。針孔立左市中。六年秋七月七日后亦夢。着佛裳裙。居五六日。立爲皇后。十四年天皇讓位於淳和皇帝。尊天皇爲太上天皇。后爲皇太后。仁明天皇受譲。尊皇太后。爲太皇太后。追贈后父太政大臣正一位。母正一位。后自明天皇即位。追尊后爲皇太后。

泡幻爲觀。佛理冥通。仁壽二名。相次年號。此正尼捨宅。入住寺家。仁明天皇助其功德。施舍五百戸封。以充供養。后亦與弟右大臣公卿臣。讌開學舍。名曰學館院。勸諸子弟。誦習經書。朝夕濟々。時人以此譽鄧。皇后初法華寺有。吉行尼。名曰開雲。見后來。知其貴。云。君後當爲天子及皇后之母。后竊記之。遂生仁明天皇及淳和太皇太后。后追想尼言。訪其所在。尼時已亡。及仁明天皇不豫甚篤。后哀感殿爺。遙割髮爲尼。衆尼敬歎也。天皇崩後。相尊而后亦崩。時年六十五。后正位之後。專務化導。宮闈之內。陰教遐穆。朝野稱之。嵯峨天皇特加敬重。高麗甚悉。故老相傳。伊豫國神野郡。昔有高僧名均然。稱聖人。有弟子名上仙。上仙住止山頂。精進練行。過於均然。諸鬼神等。皆隨願指。上仙從容語所親檀越云。我本在人間。有同天子之尊。多受快樂。尒時作是一念。我當來生得作天子。我今出家。常治禪病。雖遭餘習。氣分猶殘。我如爲天子。必以郡名爲名字。其年上仙命終。先是。郡下橘里有孤獨老。号橘媼。傾藏家產。供養上仙。上仙化去之後。媼得雷間。泣涕讓流云。吾與和尚。久爲檀越。願在來生。很會一處。得相親近。哉而媼亦命終。其後未幾。天皇誕生。有乳母姓神野。先朝之尉。母皇子生。以乳母姓。爲之名焉。故以神野爲天皇諱。後以郡名同天皇諱。改名新居。后時夫人。号橘夫人。所謂天皇之前身上仙是也。橘媼之後身夫人是也。后崇多造寶幡及繡文袈裟。窮盡妙巧。左右不知其意。後遣沙門高勞。泛海入唐。以繡文袈裟。奉施定聖者僧伽和上。慶僧寺。以寶幡及錦蓋之具。施入⑤五臺山寺。

日本三本山、本紀月次及本朝文粹作二月。日本紀略本作三月。

本長。據內本印一本。

月見高麗記貢慶使在七年十二。

本本自明、底一本朱書傍記。印一本ナシ。

也嵯峨天皇后。橘氏。

作嚴倉。

記上仙。作仙。日本紀略。

遣、印一本作遣。

下總、同。ホ本作綿。

黒板勝美編『新訂増補国史大系　日本文徳天皇實録』（吉川弘文館）

入学年度および実施時期	2026年度　第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	文学研究科
専攻・コース等	日本文化専攻
入試方式	一般入試
科目名	選択（その1）
試験実施日	2025年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
（試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと）

【出題意図】

日本古代史における基本文献（六国史）の読解能力を測るとともに、古代史上の論点となっている８・９世紀の出来事や社会情勢についての知識があるかどうかを問うた。

【解答例（採点時の観点）】

問１

①たいこうたいごう　二代前の天皇の正妃（皇后）。

②こうらいこく／こまのくに　通常は高句麗を指すが、ここでは渤海のこと。

③だいじょうだいじん　太政官の最高官職だが、適任者がいなければ置かれない（則闕）。

④ごだいさん　中国にある文殊菩薩の聖地。日本の僧侶も巡礼に訪れた。

問２

Ａ　都蒙、相法に明らかにして、野上に語りて云はく、此の人毛骨常に非ずして、子孫大ひに貴し、と。野上云はく、請らくは命の長短を問ふ、と。都蒙云はく、卅二に厄有り。此を過ぐれば恙が無し、と。

Ｂ　后、人と為り寛和にして、風容絶異なり。手は膝を過ぎ、髪は地に委ぬ。観る者皆な驚く。

Ｃ　仁明天皇不豫甚だ篤きに及び、后、哀戚毀容たり。遂に髪を剃りて尼と為り、冥救を求むなり。天皇崩ずる後、相尋ぎて后も亦た崩ず。時に年六十五。

問３

ａ　父は清友で、若いときから穏やかな人柄であり、様々な書籍に通じていた。身長は６尺２寸（186cm）であり、顔立ちは絵に描いたような美形で、動作はたいへん雅やかであった。

ｂ　嵯峨太上天皇は、はじめ親王であった時に后（橘嘉智子）と結婚した。后への愛情は日々増すばかりであった。嵯峨天皇が即位して、弘仁年間の始めに、（嘉智子は）夫人となった。

ｃ　后（嘉智子）はみずからこの世が泡や幻のようなものであることを理解して、深く仏教を信仰した。寺院を一宇建立し、檀林寺と名付け、比丘尼のうち戒律を守る者を探して、この寺に住まわせた。仁明天皇はこの功徳に助力して、檀林寺に500戸の封戸を施入し、仏事などの費用に充てた。

問4

嵯峨天皇（諱は神野）が即位すると、伊予国神野郡は、天皇の諱と同名であることから、諱を避けるために新居郡と改められた。淳和天皇（諱は大伴）が即位した際には、大伴氏が天皇の諱と同名となるので、同様に諱を避けるため伴氏と改められた。

問5

嵯峨天皇が即位した後、皇太子（皇太弟）に立てられたのは弟の淳和天皇である。次に嵯峨天皇が淳和天皇に譲位すると、淳和天皇の皇太子には嵯峨天皇の子である仁明天皇が立てられた。さらに淳和天皇が仁明天皇に譲位すると、仁明天皇の皇太子には淳和天皇の子の恒貞親王が立てられた。この段階で皇統は、嵯峨天皇系と淳和天皇系に分裂する様相を呈していたが、承和の変により恒貞親王が廃太子されると、代わりに仁明天皇の子の文徳天皇が立太子された。仁明天皇の死後、文徳天皇が即位し、以後清和天皇・陽成天皇と、嵯峨―仁明系の皇統が続くことになる。

2026(令和 8) 年度　愛知大学大学院入学試験

（2025. 9 月実施）

受験番号	

修士課程

文学研究科　日本文化専攻	
専門科目	
科目名	選択（その 2）

採点済	

左の史料は『信長公記』の天正五年（西暦一五七七年）の記事の一部である。この史料を読んで、以下の問に答えなさい。

（A）八月八日、柴田修理亮大将として、北国へ御人数出され候。滝川左近・羽柴筑前守・惟住五郎左衛門・斎藤新五・氏家左京亮・伊賀伊賀守・稲葉伊予・不破河内守・前田又左衛門・佐々内蔵介・原彦二郎・金盛五郎八・若狭衆、[redacted]へ乱入。添川・手取川打越し、小松村・本折村・阿多賀・富樫所々焼払ひ在陣なり。羽柴筑前御届をも申上げず帰陣仕候段、曲事の由、御逆鱗なされ、迷惑申され候。

（中略）

（B）十月廿三日、羽柴筑前守秀吉、播州に至つて出陣。十月廿八日、播磨国中、夜を日に継いで懸けまはり、悉く人質執固め、霜月十日比には播磨表隙明申すべきの旨、注進申上げられ候処、早々帰国仕るべきの趣、神妙に思食させられ候由、忝くも御朱印を以て仰出され候。然りといへども、今の分にても差たる働きこれなしと、羽柴筑前守秀吉存ぜられ、直に但馬国へ相働き、先山口岩洲の城攻落し、此競に小田垣楯籠る竹田へ取懸け、是又退散、則、普請申付け、木下小一郎城代として入置かれ候キ。

（中略）

（C）霜月十七日、能見川打越し、御敵城上月へ羽柴筑前守秀吉相働き、近辺放火候て、福岡野の城取詰め、小寺官兵衛・竹中半兵衛□□□□。爾処、宇喜多和泉守後巻として人数を出し候。羽柴筑前秀吉懸合せ、足軽を追崩し、数十人討捕り、引返し、上月の城取巻き、攻められ候。七日目に城中の者、大将の頸を切り取り持て来り候て、残党の命助けられ候様にと歎き申候を、上月城主の頸、則、安土へ進上致し、信長へ御目に懸けられ、上月に楯籠る残党悉く引出し、備前・美作両国の境目に張付に悉く懸置き、上月の城には山中鹿介入置かれ、福岡野の城、是又攻破り、頸数二百五十余切捨て、存分に申付られ候。今度北国より帰陣仕り、御折檻迷惑の故、西国にて然るべき可責（かせぎ）をいたし、是を見上げ（みやげ）に仕るべしと存ぜられ、夜を日に継ぎ懸廻り、羽柴筑前粉骨の働き、比類なき題目なり。

奥野高広・岩沢愿彦校注『信長公記』（株式会社角川書店）

2026(令和 8) 年度　愛知大学大学院入学試験

（2025. 9 月実施）

受験番号	

採点欄	

修士課程

文学研究科　日本文化専攻	
専門科目	
科目名	選択（その 2）

【問一】（A）の記事の中の傍線部分「賀州」は、ある国の別称である。この国の正式名称と、この国があったところに所在する現在の県の名称を記入せよ。

国の正式名称	現在の県の名称

【問二】（A）の記事（「八月八日、…迷惑申され候。」）にみえる羽柴秀吉（筑前守）と織田信長の行動について、具体的にまとめて記しなさい。

【問三】（B）の記事（「十月廿三日、…木下小一郎城代として入置かれ候キ。」）にみえる羽柴秀吉（筑前守）と織田信長の行動について、具体的にまとめて記しなさい。

【問四】（C）の記事の傍線部分「今度北国より帰陣仕り、…比類なき題目なり。」を現代語訳しなさい。

入学年度および実施時期	2026年度　第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	文学研究科
専攻・コース等	日本文化専攻
入試方式	一般入試
科目名	選択（その2）
試験実施日	2025年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
（試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと）

【出題意図】

日本史の研究においては、文献史料を正確に読み取ることがなにより必要である。こうした能力があるかどうかを確かめるために、特徴的な内容を持つ記事を選んで、「古典的な文章の内容を現代文でまとめて記す」という形の問題を出した。ここでは『信長公記』の中の「天正五年における羽柴秀吉の行動」をとりあげ、羽柴秀吉や織田信長の行動の内容などを正確に理解できているか問う問題を作成した。

【解答例（採点時の観点）】

〔問一〕国の正式名称…加賀　現在の県の名称…石川県

〔問二〕

羽柴秀吉は、柴田修理亮に従い、ほかの武将たちとともに加賀に攻め入ったが、断りもせずに勝手に陣から離れ、帰ってしまった。これを聞いた織田信長は「とんでもないことだ」と立腹し、秀吉は困った状況に追い込まれた。

〔問三〕

羽柴秀吉は播磨に出陣し、夜も昼も国の中を懸けまわって、各地の人から人質を取り、「霜月十日頃には播磨表は平定できる」と、織田信長に注進した。信長は朱印状を出して「立派なものだ。早く帰国するように」と仰せられた。ところが秀吉は「この程度ではたいした功績ではない」と考えて、すぐに但馬に攻め込み、敵の城を手に入れた。

〔問四〕

今度北国から帰陣したため、信長からお叱りを受け、困った状況になっていたので、「西国で見事な働きをして、これを土産にしたい」と考え、夜も昼も懸けまわった。羽柴筑前の粉骨の働きは、比類のないものであった。

〔問一〕は解答が決まっているので、採点は容易である。〔問二〕〔問三〕〔問四〕は文章で書く問題なので、「内容をどこまで理解し、現代文で表現できているか」を判断して採点する。まずそれぞれの設問の配点を決め（回答欄の長さにほぼ比例）、完璧な解答であれば満点とするが、うまく解読できていないところがあるのが一般的なので、こうした部分がどのくらいあるかを見て減点する、という方法をとる。あまりよく解答できていない場合は、少しでも読めているところを捜して採点するが、こうした場合は高得点にはならない。

2026(令和 8) 年度　愛知大学大学院入学試験

（2025．9月実施）

受験番号	

採点欄	

修士課程

文学研究科　日本文化専攻	
専門科目	
科目名	選択（その3）

問題　「別紙」史料1と史料2とを読み次の各問に答えてください。なお、問題番号をご自分でこの解答用紙に記入した上で解答してください。また解答は解答用紙の裏面までご使用してもかまいません。

問一　傍線部①「可被直訴僉」から「可被申上事」までを読み下し（書き下し）文にしてください。ただし、一文章が終わる箇所は、読点ではなく、句点に替えること。

問二　傍線部②について、「談合」する人物（複数人の場合は全員）を、氏名（姓名、フルネーム）で傍線部記述してください。

問三　傍線部③について、誰の「御耳」か、その人物の氏名（姓名、フルネーム）を記述してください。

問四　傍線部④「仮令」の読みがなを記述してください。

問五　傍線部⑤「天和・貞享頃」の将軍名を記述してください。

問六　傍線部⑥「料所」の現代語訳＝意味を記述してください。

問七　史料1と史料2との記述における相違点にも留意して、鎌倉期から江戸中期までの年貢率の変遷について、この二つの史料に基づいて概説してください。

御掟追加

一諸公家、諸門跡被嗜家々道、可被專　公儀御奉公事、
一諸寺社儀、寺法社法如先規相守、專修造、學問勤行不可致由斷事、
一天下領知方儀、以毛見之上、三分二者地頭、三分一者百姓可取之、菟角田地不荒樣可申付事、
一小身衆者、本妻外、遣者一人ハ可召置、但別ト不可持家、雖爲大身、手懸者不可過一兩人事、
一隨知行分限、諸事進退可相働事、
一可致直訴儀、於擧目安者、先十人ヘ可申、十人衆訴人以馳走双方召寄、慥可被聞申分、直訴目安者、各別之儀候間、此六人ヘ可被申、以談合上、御耳ヘ於可入儀者、可被申上事、
一衣裳紋、御赦免外、菊桐不可付之、於御服拜領者、其御服所持間者可着之、染替別衣裳、御紋不可付之事、
一酒ハ可隨樣器、但大酒御制禁事、
一覆面仕往來儀、堅御停止事、
右條々、於違犯之輩者、可被處嚴科候也、
文祿四年八月三日　　隆景（花押）
輝元（花押）
利家（花押）
景勝（花押）
秀家（花押）
家康（花押）

東京大学史料編纂所『大日本古文書　浅野家文書』（東京大学史料編纂所）

一　五公五民之事

檢見の法に五公五民と云ことは、其年の出來米を地頭へ半分、百姓作德半分と取を云、籾は五合摺の積りに付、有籾を四に除ハ、則ち取箇辻に成る。仮令ハ籾拾石あり、五合摺にして米五石、此半分弐石五斗ハ地主作德に成る、往古ハ四公六民にて、四分ハ年貢に納め、六分作德に成たり、元來租稅の儀は漢土の聖代は云に及ばず、李唐の代に至りても租稅軽く、本朝にても上古ハ、稻の束數を以て納め、縦か廿分一にも及バざる貢稅なりしに、保元・平治の兵乱以後、上古の法ハ廃絶し、国に守護、庄園に地頭を置れ、兵農分れてより諸国租稅の法大に変じ、上田は六分を地頭へ納め、四分を百姓取る、中田は四分を作貢、六分を作德、下田は弐分を地頭へ納め、八分を百姓の作德とす、平均して地頭四分百姓六分を取る、

（中略）

国ゝ一様にはあらざれども、大概ハ似たるなるべし、四公六民と云こと此時代の詞を云ひ伝ふなるべし、又豊臣時代天下一統に成ての法ハ、地頭三分一、百姓三分二とあれバ、是も大抵四分六分より年貢少し弱し、今の五公五民の法ハ何頃より始りしにや、何の書物にも未だ見当らず、若くハ享保年中色取検見に成たる以後、始りたる儀にても有るや、又天和・貞享頃迄ゝ政事も改たる由、其比より五公五民の法発りたるか、其原始ハ詳かならずといへども、当時ハ天下一統、料所私領とも五公五民の取箇の定法に成たり、（後略）

入学年度および実施時期	2026年度　第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	文学研究科
専攻・コース等	日本文化専攻
入試方式	一般入試
科目名	選択（その3）
試験実施日	2025年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
（試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと）

【出題意図】

問一、四　　史料を正確に読めているか。

問二、三、五　日本史における基礎的な歴史知識を身に付けているか。

問二、三、七　史料を正確に読解できているか。

問六　　日本史における基本的な歴史用語を理解しているか。

【解答例（採点時の観点）】

問一　一つ、直訴いたすべき儀、目安を挙げる(挙ぐる)においては、まず十人へ申すべし。十人衆訴人馳走をもって双方召し寄せ、たしかに聞こしもうし分けらるべし。直訴目安は格別の儀候あいだ、この六人へ申さるべし。談合の上をもって御耳へ入れるべき儀は、申し上げらるべきこと。

問二　小早川隆景、毛利輝元、前田利家、上杉景勝、宇喜多秀家、徳川家康

問三　豊臣秀吉

問四　たとえ（たとい）

問五　徳川綱吉

問六　(江戸)幕府領

問七　史料２から、鎌倉期から室町期にかけては、基本四公六民(年貢は収穫の四割)であったが、豊臣期には年貢は収穫の三分の一となって若干減り、しかし江戸時代の五代将軍徳川綱吉から八代将軍吉宗頃に五公五民(年貢は収穫の五割)に増えたと思われるが、ただし史料１からは豊臣期に年貢は収穫の三分の二となっているという点を記していること。しかしこの史料１は朝鮮出兵時に出された戦時臨時法令であり、実際に実施されたかどうかは疑わしいという学説があることを記していればなおよい。

2026(令和 8) 年度　愛知大学大学院入学試験

（2025. 9 月実施）

受験番号	

修士課程

文学研究科　日本文化専攻	
専門科目	
科目名	選択（その 4）

採点欄	

日本語の語彙は、奈良時代から現代までどのように変化してきたか。具体例を示しながら論じなさい。

入学年度および実施時期	2026年度　第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	文学研究科
専攻・コース等	日本文化専攻
入試方式	一般入試
科目名	選択（その4）
試験実施日	2025年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
（試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと）

【出題意図】

日本語史における基本的な知識の中で、語彙についての変化をどのように捉えているか。どのような事象に関心を持ち、それを自らの言葉で論述することができるか、力を問うため。

【解答例（採点時の観点）】

（略）

具体例を示して論じることで、単に暗記ができているかを問うのではなく、語彙の歴史をどのような観点から捉え、論じることができるか。日本語の語彙の歴史について、どのような方向性を持った変化であるのかを示すことが望まれる。

2026(令和 8) 年度　愛知大学大学院入学試験

（2025. 9 月実施）

受験番号	

採点欄	

修士課程

文学研究科　日本文化専攻	
専門科目	
科目名	選択（その 5）

(1)　次の「東歌（あづまうた）」の現代語訳を記し、この表現の特色について述べなさい。

○多摩川にさらす手作りさらさらに何そこの児のここだかなしき（万葉集・巻 14・3373）　犬飼隆・和田明美『万葉人の声』（青簡舎）

【現代語訳】

【表現の特色】

(2)　古代から中世・近世・現代に至る日本語のハ行音の歴史について、【両唇破裂音・両唇摩擦音・口蓋摩擦音・咽喉摩擦音】等の調音部位・調音方法を考慮に入れ、これらの用語と音声記号を用いながら論述しなさい。　犬飼隆・和田明美『万葉人の声』（青簡舎）

入学年度および実施時期	2026年度　第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	文学研究科
専攻・コース等	日本文化専攻
入試方式	一般入試
科目名	選択（その5）
試験実施日	2025年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
（試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと）

【出題意図】

(1) は日本における現存最古の歌集である『万葉集』の「東歌」からの出題である。出題した歌は、「東歌」のなかでも最も人口に膾炙しており、古代日本語表現としての歌の意味や和歌修辞としての「序詞」の機能を理解する力を問うこととした。(2)は日本語音韻史のなかで注目される「ハ行音」に関する出題である。音声学や音声記号の知識をも併せて見定めるべく、「調音部位」「調音方法」を考慮に入れ、音声記号を活用・使用しつつ論述することを旨とした。

【解答例（採点時の観点）】

(1) の【現代語訳】は、「多摩川にさらさら晒す手作りの布のように、さらにさらにどうしてこの子がこんなにもいとしいのか」となるが、歌意が理解できていれば別解として評価の対象とした。【表現上の特色】については、序詞の機能や同音の繰り返しによる効果等を具体的に記すことが求められる。まず同音反復の序詞として「多摩川にさらす手作り」が「さらさらに」を導く機能、手織りの布を晒す労働をもっていとしい心を具象化する古代的な象徴機能について論述することが肝要である。また「さらす」「さらさらに」等の音のすがすがしさのみならず「この児の」「ここだ」も含めた同音の繰り返しによるリズム効果も、この歌の表現上の特色と見なされる。上記のような論述を評価の対象とした。

(2) 日本語のハ行の音韻史/p→f→h/を踏まえながら、音声学の知識を援用しつつ調音部位・調音方法（タターム）を活用・使用しながら論述することが求められる。現代日本語のハ行音は、ヒ（硬口蓋摩擦音）とフ（両唇摩擦音）以外は/h/である。古代に遡り、万葉集に記された万葉仮名の音価推定や中世のキリシタン資料の表記等をもとに、両唇破裂音p→両唇摩擦音f→咽喉音hへの歴史的変遷について論述しているか否かを評価の基準とした。また平安時代に一般化した「ハ行転乎」の現象や「ハ行表記」の問題についても採点の対象とするとともに、新たな知見や独自の見解についても実証性・論理性があれば評価した。

2026(令和 8) 年度　愛知大学大学院入学試験

（2025．9月実施）

受験番号	

修士課程

文学研究科　日本文化専攻	
専門科目	
科目名	選択（その 6）

採点欄	

以下の①②③④の課題について論述しなさい。

※「解答用紙」にそれぞれの番号を書いて記述すること。順番通りでなくてもかまいません。それぞれの記述の分量は任意とします。

※縦書きに限ります

①日本古典文学に描かれた「いくさ（戦争）」について、具体的な作品に言及しつつ論じなさい。

②古典の和歌を一首取り上げ（歌は必ず書くこと）、それについて解説・批評しなさい。

③次の文章の筆者に言及しつつ、そこからうかがえるものの考え方を説明しなさい。

「大かた物語をよみたるばかり、かくのごとし。昔の事を、今のわが身にひきあて、ならべて、昔の人の物のあはれをも、思ひやり、おのが身のうくをもむかしにくらべみて、もののあはれをしり、うきをも思ひなぐさむるわざ也。」

中村幸彦『日本古典文学大系 94』（株式会社岩波書店）

④日本古典文学史をふたつの時代に区分するとすればいつが境目になるか、また、そう考える理由について述べなさい。

入学年度および実施時期	2026年度　第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	文学研究科
専攻・コース等	日本文化専攻
入試方式	一般入試
科目名	選択（その6）
試験実施日	2025年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
（試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと）

【出題意図】【解答例（採点時の観点）】

① 本問では、日本古典文学に描かれた「いくさ（戦争）」について、具体的作品を挙げて論じることを求めた。本問は、戦争という主題が、時代・ジャンル・作者の立場によっていかなる表象を与えられてきたかを理解しているかを確認することを意図している。作品内容の要約にとどまらず、文学的表現や価値観、歴史的背景を踏まえた分析・考察ができるかどうかについても評価を行う。具体的作品としては、『陸奥話記』『将門記』『保元物語』『平家物語』『承久記』などの軍記が挙げられるが、これ以外の、例えば『方丈記』のような作品では、同時代の深厚な戦争が敢えて書かれないことについて考察があってもよい。受験者の主体的な批評力を評価するものであり、解答例のようなものはない。

② 本問では受験者に対し、任意の和歌を一首取り上げ、その本文を正確に示したうえで解説・批評することを求めた。本問は、和歌本文を適切に扱う基礎的能力（本文の提示、語句や修辞表現の注釈的理解）とともに、当該歌の文学史的位置付け（勅撰集入集歌ならばその集の位置付けなど）や思想（歌徳的歌ならばその背景にある宗教観）などに踏み込んだ知識・説明能力を測ることを目的とする。また、既存の解釈を踏まえつつ、近年新見示された歌については、それについて自身はどう評価・位置づけるか、批評的考察があってもよい。受験者の主体的な批評力を評価するものであり、解答例のようなものはない。受験者の主体的な批評力を評価するものであり、解答例のようなものはない。

③ 本問では、提示した文章の筆者に言及しつつ、その文章からうかがえる「ものの考え方」を説明することを求めた。本問は、古典テキストの正確な読解力を前提としながら、この文章に示された文学観・物語観といった抽象的概念を整理し、説明できる能力を問うものである。あわせて、筆者や作品の位置づけを踏まえた説明ができているかを通して、文学史的理解と概念化の力を評価する。受験者の主体的な批評力を評価するものであり、解答例のようなものはない。

④本問では、日本古典文学史を二期に区分する場合の境目と、その理由を問うた。本問は、通史的知識の暗記を目的とするものではなく、文学史をどのような観点で把握しているか、またその区分を論理的に説明できるかを測ることを意図している。受験者

自身の問題意識に基づき、時代区分の妥当性を根拠とともに示す姿勢を評価対象とする。受験者の主体的な批評力を評価するものであり、解答例のようなものはない。

2026(令和 8) 年度　愛知大学大学院入学試験

（2025. 9 月実施）

受験番号	

採点欄	

修士課程

文学研究科　日本文化専攻	
専門科目	
科目名	選択（その 7）

（1） 平野謙の『昭和文学史』（昭和 38、筑摩書房）の冒頭は次のように始まる。「［ X ］が、齢四十にみたず「将来に対する唯ぼんやりした不安」のために自裁したすがたは、そのまま困難な昭和文学の開幕の合図ともいうべき一個の象徴であった。事実、彼の死の原因となった「ぼんやりした不安」を自意識上のそれとして追及するか、社会意識的なそれとして克服しようとするか、が昭和初年代の文学の内包する最大の命題ともいえるのである。」

空欄［ X ］を埋めた上で、上記の時代の文学史的見取図を描き、［ X ］の死の文学史的意義について論じよ。

平野謙『昭和文学史』（筑摩書房）

［ X ］＝〖　　〗

【日本文化専攻】修士課程　第 1 期（9 月）実施分の専門科目 選択（その 7）の問題文（2）は著作権上の都合により掲載しておりません。

ご不便をおかけしますことお詫び申し上げます。

（3） 次の三人の文学者の中から一人を選択し、その生涯と文学について知るところを述べよ。（記述は裏面）

［①島崎藤村、②深沢七郎、③吉田修一］

入学年度および実施時期	2026年度　第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	文学研究科
専攻・コース等	日本文化専攻
入試方式	一般入試
科目名	選択（その7）
試験実施日	2025年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
（試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと）

【出題意図】

大問（１）は、平野謙の手になる『昭和文学史』の冒頭部を引用しつつ、昭和文学史の基本的な知識を問う出題意図を有する設問である。三派鼎立と呼ばれる昭和初年代の文学史的見取り図を正確に描くことができるか、また空欄部の答えである「芥川龍之介」の死をメルクマールとする大正期から昭和期への文学史的ヘゲモニーの転換など、近代文学史のなかでも特に重要な時期の知識および課題を問う問題となっている。

大問（２）は、著作権上の都合により掲載しておりません。

大問（３）は、島崎藤村、深沢七郎、吉田修一という３名のなかから１人を選び、その人物および文学的業績についての知識を問う出題意図を有した設問である。

【解答例（採点時の観点）】

(1)X＝芥川龍之介

芥川龍之介が自殺を遂げたのは昭和２（1927）年7月24日のことだが、この昭和初年代は三派鼎立の時代と呼ばれる。三派とは明治から引き続く、私小説（自然主義）を中心とした既成文壇、大正10年頃から勢いを得てきたプロレタリア文学、最後に川端康成や横光利一が代表するモダニズムの文学である。芥川は大正末期以後、プロレタリア文学の陣営からはブルジョア作家として批判され、旧来の既成文壇に連なることもむろん叶わず、世代として後輩となる川端や横光らモダニズムの文学に加わることもできない、非常にあいまいな位置に立たされていた。芥川の死の意義を、彼の個人的要因（精神的な、あるいは文学的な行き詰まり）に還元することも可能だが、昭和改元の翌年に決行された彼の自死は、より広い歴史的な文脈において、上記のような文学的なパラダイムの転換期によって引き裂かれた死としてとらえることが可能である。

(2)著作権上の都合により掲載しておりません。

(3)たとえば②の深沢七郎について、文壇登場以前のギタリストとしての経歴や、「楢山節考」によるセンセーショナルなデビューについて記述し、人間滅亡教教祖を名乗るなど、既成の文学や思想を超えるスケールを秘めたそのユニークな活動について記述されていればよい。